



基礎体験活動合同説明会

入門期セミナーを終えた一回生も、次第に大学生生活に慣れ親しんできたようです。4月19日(水)には、基礎体験活動への意欲が高まってきた一回生を対象にした「基礎体験活動合同説明会」が行われました。今年度は22の事業所の参加があり、予定している活動内容について、約1時間程度のポスターセッションを行いました。一回生は、各ブースを積極的にまわり、事業所の方や学生スタッフの話を真剣に聞いていました。特に、その事業所で基礎体験をしている学生の体験談には、目を輝かせながら聞く姿が見られ、基礎体験活動への見通しが持てたことと思います。

一回生は、翌20日(木)から基礎体験活動への申し込みがスタートし、さっそくいろいろな活動へ登録を始めています。1000時間体験学修の大きな柱である基礎体験活動を通して、いろいろな方と出会い、さまざまな社会的体験を積んで、社会性や豊かな人間性を育ててほしいです。



1 回生の感想より…

☆今回、この基礎体験活動合同説明会に参加して、1000時間体験へのワクワクしている気持ちややる気が更に高まりました。自分が想像している以上にたくさんの活動があり、驚きました。どの事業所の方々も熱心に説明してくださり、本当に島大生を待ってくださっているのだなと感じました。どのブースも、1つ1つ丁寧に熱意をもって説明してくださいました。私はキャンプなどの野外活動に参加してみたいとしか考えていなかったのですが、



様々な子どもとふれ合い、自分の目指す夢を更に広げてみるのもいいなと思いました。どの活動も将来役に立ちそうな、やってよかったと思えるようなものばかりだと思ったので、いろいろな活動に参加して1年生のうちから自分を磨いていこうと思います。がんばります！(女)

☆約1時間にたくさんの団体のお話を聞き、自分が興味ある体験や行ってみたい1000時間体験学修を見つけることができました。私は、小学生と一緒に触れ合うことができる体験を中心に行きたいと思ったけど、中学生や保護者の方たちとも触れ合えるような体験にも行って、経験を増やしたいと思いました。また、松江で体験に行くだけでなく、鳥取県や島根県の西部にも行って、いろいろなところで活動したいです。1000時間体験学修は1000時間行えばよいけど、1000時間だけでなく、1000時間をこえ、2000時間まで積極的に体験したいです。1000時間体験学修を通して、教員になるために必要な力をつけていきたいです。(女)

☆たくさんの経験を積み、知見のある教師になるため、地域と連携して、これから様々な活動に取り組んでいくが、活動ごとで伸ばせる力が異なるため、慎重に選択していく必要があると感じた。私は、保護者たちと円滑にコミュニケーションがとれるのか、今から不安に思っている。一方で、子どもたちと話したり遊んだりする機会も大事にしたいと思う。今回の合同説明会では、親子そろって参加するような活動もあったので、積極的に参加していこうと思う。また、各団体さんの必死な姿勢がとても印象的だった。それは、過去に様々な活動に参加してきた先輩方が、現場や多方面で貢献し、良い印象を残してくださったのではないかなと思う。よい教師になるために、真剣に取り組んだ先輩方の姿がうかがえた説明会だった。この学修に参加して、よい教師になるため、また、この活動を次の世代につなげるためにもいろいろな活動に関わり、多方面で貢献していこうと思う。(男)



☆今日の基礎体験合同説明会で一番強く感じたことは、自分の選択次第で今まで興味のなかったことへの考え方が変わるかもしれないということです。様々なジャンルの体験活動があり、自分の得意なことのジャンルを選びがちになると思いますが、そこで今までやったことのないジャンルの体験を選んでみると、違った見方ができるのではないかなと感じました。私は、中学校の教員を目指しているのですが、幼稚園などの小さな子どもと関わることも、中学校での指導をする際に役に立つことになるかもしれないと思ったので、そういう活動にも参加してみようと思います。また、今日の説明会で「親子」や「保護者」という言葉をよく耳にし、子どもだけでなく、大人からも学べることもたくさんありそうだなと思いました。自分の理想としている教師になるため、上手に効率よく基礎体験活動を利用し、できることは全て自分の力にしたいです。(男)

☆実際に何をしたらよいのかが、僕の疑問点だったので、それを払拭するような時間になりました。僕が、この大学に入ったのはこの1000時間で自分の弱点であるコミュニケーションの力をつけるということだったので、いろいろな話を聞く中で、簡単ではないけど、とても力になりそうなものがたくさんありました。僕は、まずやってみることが重要だと思っているので、まずは、主体的に取り組んでいきたいです。様々なシチュエーションに応じて、準備が必要になってくると思います。言われたことだけをやるのではなくて、言われることから連想させて自分でプラスアルファの取り組みができるようになりたいです。将来生かせるような体験にできるように、最初の時期は「準備」「応用力」をテーマに努力していきたいです。(男)



☆今回、たくさんの体験先の方々のお話を聞いて、考えたことが2つあります。まず、どの体験も人との繋がりから私たちが成長することを目的としているということです。子どもたちの自立を目指す活動では、私たちが子どもたちのために考え動くことで、私たち自身の主体性や周囲を見る力が向上するようになってきました。次に、体験で様々な地域に出かけ、その地域を知ることができるということです。説明をくださった体験先だけでも、たくさんの地域がありました。そのほとんどが知らない地域でした。そのような所へと出かけていくことで、その地域のよさや抱えている問題を詳しく知り、自分の経験を増やしていきたいと思いました。このように、今回の説明会からだけでも、とても良い経験ができました。基礎体験活動に参加すると、もっとたくさんの経験から多くの学びを得ることができるのだと思います。まずは勇気を出して、一歩踏み出してみようと思います。(女)